



平成 27 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 サイバーコム株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 剛喜
(コード番号：3852)
問合せ先 常務取締役経営管理部長 佐藤 文昭
(TEL. 045-312-3271)

(訂正)「平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 11 月 5 日に公表いたしました「平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載について訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

○添付資料 2 ページ

(1) 経営成績に関する定性的情報

[訂正前]

<省略>

当第 2 四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高31億27百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益4億79百万円（前年同期比30.2%増）となりました。

通信ソフトウェア開発は、前年度に引続きネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定・変更できるSDN関連のシステム開発案件、LTE網やIPネットワーク網を支える伝送装置、ネットワーク網監視システム、ルータ、スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、市場が拡大傾向にある車載システム、工業用機械制御装置や、アミューズメント機器の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築、電子カルテ等の医療系、エネルギー関連のシステム開発案件、自治体向け業務システム開発案件、金融向け業務システム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高8億41百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益1億24百万円（前年同期比15.9%増）となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流を受け、SIサービス（構築・保守・運用サービス）では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。

[訂正後]

<省略>

当第2四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高31億27百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益4億62百万円(前年同期比25.5%増)となりました。

通信ソフトウェア開発は、前年度に引続きネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定・変更できるSDN関連のシステム開発案件、LTE網やIPネットワーク網を支える伝送装置、ネットワーク網監視システム、ルータ、スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、市場が拡大傾向にある車載システム、工業用機械制御装置や、アミューズメント機器の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築、電子カルテ等の医療系、エネルギー関連のシステム開発案件、自治体向け業務システム開発案件、金融向け業務システム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高8億41百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益1億20百万円(前年同期比11.9%増)となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流を受け、SIサービス(構築・保守・運用サービス)では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。

○添付資料 7ページ

(6)セグメント情報等

[訂正前]

<省略>

当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額(注)2
	ソフトウェア 開発事業	サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,127,855	841,748	3,969,604	—	3,969,604
計	3,127,855	841,748	3,969,604	—	3,969,604
セグメント利益	<u>479,539</u>	<u>124,794</u>	<u>604,334</u>	<u>△353,984</u>	250,349

(注)1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<省略>

[訂正後]

<省略>

当第2四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	ソフトウェア 開発事業	サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,127,855	841,748	3,969,604	—	3,969,604
計	3,127,855	841,748	3,969,604	—	3,969,604
セグメント利益	<u>462,034</u>	<u>120,535</u>	<u>582,569</u>	<u>△332,220</u>	250,349

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

<省略>

2. 訂正の理由

平成27年3月期第2四半期において確定した営業利益の内訳であるセグメント利益の計算過程において、調整額の販管費及び一般管理費の入力誤りがあったため、ソフトウェア開発事業及びサービス事業に配賦される販管費及び一般管理費にズレが生じ、各セグメント利益が訂正となりました。これにより「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における添付資料の「経営成績に関する定性的情報」及び「セグメント情報等」の記載内容が誤りとなりますので、これを訂正するものであります。

以 上